

# 高砂市 新たな学校づくり通信

令和8年4月発行

～子どもたちに最適な教育環境を提供するために～

vol.14  
こども版

## 「高砂市新たな学校づくり推進計画」における方向性をまとめたよ！

高砂市では、みなさんが安心して学べるよう、よりよい教育環境を整えるために、『高砂市新たな学校づくり推進計画』を作ろうとしています。

このたび、みなさんから集めた意見をもとに、高砂市が目指すこれからの学校のイメージやどんなことを大事にしたいと考えているかをまとめました。

### 4つの方向性

#### (1) 多様な教育活動ができる学習集団の規模の確保

- 適正規模(クラス数の目安) ※1クラスの人数は35人とします。

小学校	12～24クラス(1学年あたり2～4クラス)
中学校	12～18クラス(1学年あたり4～6クラス)

- 適正配置(通学距離・時間の目安)

小学校	通学距離：4Km	通学時間：60分
中学校	通学距離：6Km	通学時間：60分

※遠くから通うときは、各地域に合わせて通学の負担を軽くする方法を考えます。

#### (2) 新しい時代の学びに対応した教育環境の整備

- 連続性のある学びの推進

小学校から中学校までの9年間を一つのまとまりとして考え、つながりのある学びを行う小・中一貫教育がもっと充実するように学校の配置を考えていきます。

- 新たな学びへの対応

一人ひとりに合った学びや友達と一緒に学ぶことを大切にするとともに、ICTの活用や地元企業などと連携した学びを進めていきます。そのために学びやすい設備や空間を整えていきます。

「高砂市新たな学校づくり推進計画」における方向性



#### (3) 安全・安心、快適に過ごすことができる施設の整備

- 学校施設の安全性の確保と機能性の向上

安全・安心に過ごせる学校にするため、古くなった校舎は計画的に直しながら、誰もが使いやすい学校を整備します。また、安全でおいしい食事が食べられるように、給食室の設備を整えるとともに、小学校の水泳授業は民間プールで実施することを進めていきます。

- 多様なニーズへの支援

一人ひとりの個性やニーズに合った学びを大切に、色々な学び方で学べるようにしていきます。そのために、特別な支援や配慮を必要とする子どもたちの支援体制の充実や安心して過ごせる環境を整えます。

- 児童生徒、教職員が快適に過ごせる学校施設

ランドセルや鞆の置き場所・机を大きくすることでみんなが勉強しやすいようにしたり、教室の広さを広げることで様々な学び方に対応したりできるようにします。また、先生が働きやすい環境を整え、みなさんとしっかりと向き合える学校を目指します。

#### (4) 学校と地域の連携の充実

- 地域とともにある学校の推進

高砂市の強みである「ものづくり産業」や「歴史・文化・自然」を教材として、地域の方たちと連携しながら、子どもから大人までが学び合える環境を整えていきます。

- 学校環境の向上に資する学校施設の複合化の検討

地域交流センターや図書館などの公共施設を学校と同じ敷地に整備することで、地域とより良い関係を築いていくことを目指します。また、地域の方たちが学校を使う場合でも、みなさんが使う場所とはエリアを分けることで安全性を確保します。

- 避難施設としての防災機能強化

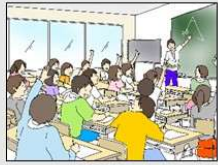
学校は地域の方たちの生命と安全を守る拠点なので、地震や大雨などの災害時に誰もが安心して避難できるように環境を整えます。

これからもみんなの意見を聞かせてね！



たかさごし めざ 高砂市が目指す「これからの学校像」

○一定規模の学習集団



・切磋琢磨でき、さまざまな意見に触れられる学級規模



・活気ある学校行事が行える規模の確保

○地域の実情を踏まえた通学の負担軽減



・バスや公共交通機関など



・自転車など

多様な教育活動ができる  
学習集団の規模の確保

○多様なニーズへの支援



・一人ひとりのニーズに応じた適切な指導・支援

○快適に過ごせる学校施設



・打合せスペースなどのある職員室

○プールのあり方



・民間温水プールの活用

○ユニバーサルデザイン

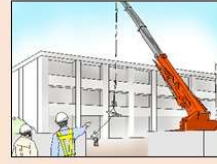


・誰もが使いやすい施設



・誰もが移動しやすい施設

○老朽化対策



・計画的な整備・維持管理による安全安心な校舎

○防犯対策



・屋内で遊べる環境の整備



・防犯カメラによる不審者の対応



・校門の電気錠システムによる開錠管理



・給食センターからの配送



・自校式による給食の提供



・ランチルームの活用

安全・安心、  
快適に過ごす  
ことができる  
施設の整備

○連続性のある学びの推進



・教職員の交流



・学年を超えた交流

○教育DXの推進



・遠隔地との交流



・タブレットや電子黒板の活用

○個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実



・一人ひとりに合わせた学習ができる環境



・児童生徒が互いに協力しながら学べる環境

○探究的な学びの推進



・地域の人材や資源の活用



・学習の成果発表

新しい時代の学びに対応した教育環境の整備

○地域とともにある学校づくり



・地域の人の活動拠点



・地域の人との多様な交流

○部活動の地域展開



・地域住民や地域クラブが主体となった活動



・地域住民や地域クラブが主体となった活動

○防災機能の強化



・防災訓練の合同実施



・防災備品の置き場の確保

○学校施設の複合化・共用化



・地域の人でも利用できる空間



・地域の人でも利用できる空間

学校と地域の連携の充実